

令和6年度第2回教育研究評議会議事要旨

日時 令和6年5月15日(水) 14時30分～14時49分

場所 第一会議室 (Zoom 併用)

出席者 26名

長谷山理事長、穴沢学長(議長)、米澤理事・事務局長、江頭副学長、片桐副学長、齋藤一朗副学長、齊藤大輔副学長、沼澤副学長、高橋保健管理センター所長、尾形言語センター長、大津 CGS 教育支援部門長、プラート CGS グローカル教育部門長、玉井 CGS 産学官連携推進部門長、白田経済学科長、鈴木商学科長、坂東企業法学科長、木村社会情報学科長、岡部一般教育系学科主任、乙政現代商学専攻長、籾本アントレプレナーシップ専攻長、西村教授、石川教授、小倉教授、小泉教授、赤塚教授、嘉瀬教授

公欠者 2名

深田情報総合センター長、中島教授

陪席者 2名

檜山監事、西原監事

議事に先立ち、4月17日開催の令和6年度第1回教育研究評議会の議事要旨の確認が行われた。

議題1. オウル応用科学大学との相互理解覚書更新について

江頭副学長(国際連携本部長)から、審議資料1に基づき、オウル応用科学大学との相互理解覚書更新について、以下のとおり提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

- 協定締結時は有効期限5年間であったところ、無期限の自動更新に内容を変更して更新をしたい。
- 相互理解覚書の更新と併せて、昨年度同大学と締結したエラスムスプラスについても更新をしたい。内容としては、協定締結時は有効期限が1年間であったところ、3年間に変更して、更新をしたい。

議題2. 令和6年度昇任人事に係る日程等について

穴沢学長から、令和6年度昇任人事に係る日程等について、審議資料2に基づき提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

報告事項1. 北海道国立大学機構シンポジウムの開催について

長谷山理事長から、報告資料1に基づき、北海道国立大学機構シンポジウムの開催について報告があった。

報告事項2. 教員の再雇用について

穴沢学長から、本年度末をもって定年退職予定の教員3名から再雇用の申し出があり、「北海道国立大学機構職員就業規則」に基づき、令和7年4月1日から再雇用することとした旨、報告があった。

なお、アントレプレナーシップ専攻の教授からは再雇用の希望がなかった旨、説明があった。

また、本年4月1日から再雇用している次の教員から、再雇用期間の更新の申し出があり、令和7年4月1日から再雇用の期間を1年間更新することとした旨、併せて報告があった。

本件は、6月5日開催の第3回学部・大学院合同教授会においても報告予定である旨、説明があった。

報告事項3. 令和6年6月期勤勉手当における評価基軸について

穴沢学長から、報告資料3に基づき、令和6年6月期勤勉手当における評価基軸について報告があった。

○次回開催について

次回の教育研究評議会は、6月19日（水）14：30に開催する予定である。

以 上